

宍道湖西岸なぎさ公園における魚類のへい死に関する 情報提供

状況： 平成24年9月19日（水）14:00頃 国土交通省の維持業者が除草作業中に、宍道湖西岸なぎさ公園の沿岸部で魚類のへい死（約100匹以上）を確認しました。

へい死魚の多くは、スズキ（セイゴ）で、その他フナ、ハゼ、サッパ等が確認されました。

発生場所： 出雲市島村（別紙参照）

発生原因： 調査中

島根県水産技術センターが魚のへい死状況を確認した際に、併せて水質を測定。

DO 2% (0.16mg/l)、塩分が11.4PSU、水が白っぽく、硫化水素臭があった。

また、当日は10:00頃から約10m前後の西風が継続して吹いており、これにより、宍道湖西岸域に底層の塩分濃度が高い貧酸素の水塊が移動したと考えられる。

これらのことから、貧酸素による酸欠や青潮が発生し、へい死した可能性が高い。

今後の対応： 国土交通省においてパトロールによる経過観察を行うとともに、島根県水産技術センターにおいて、魚病検査を実施する予定。

提供先

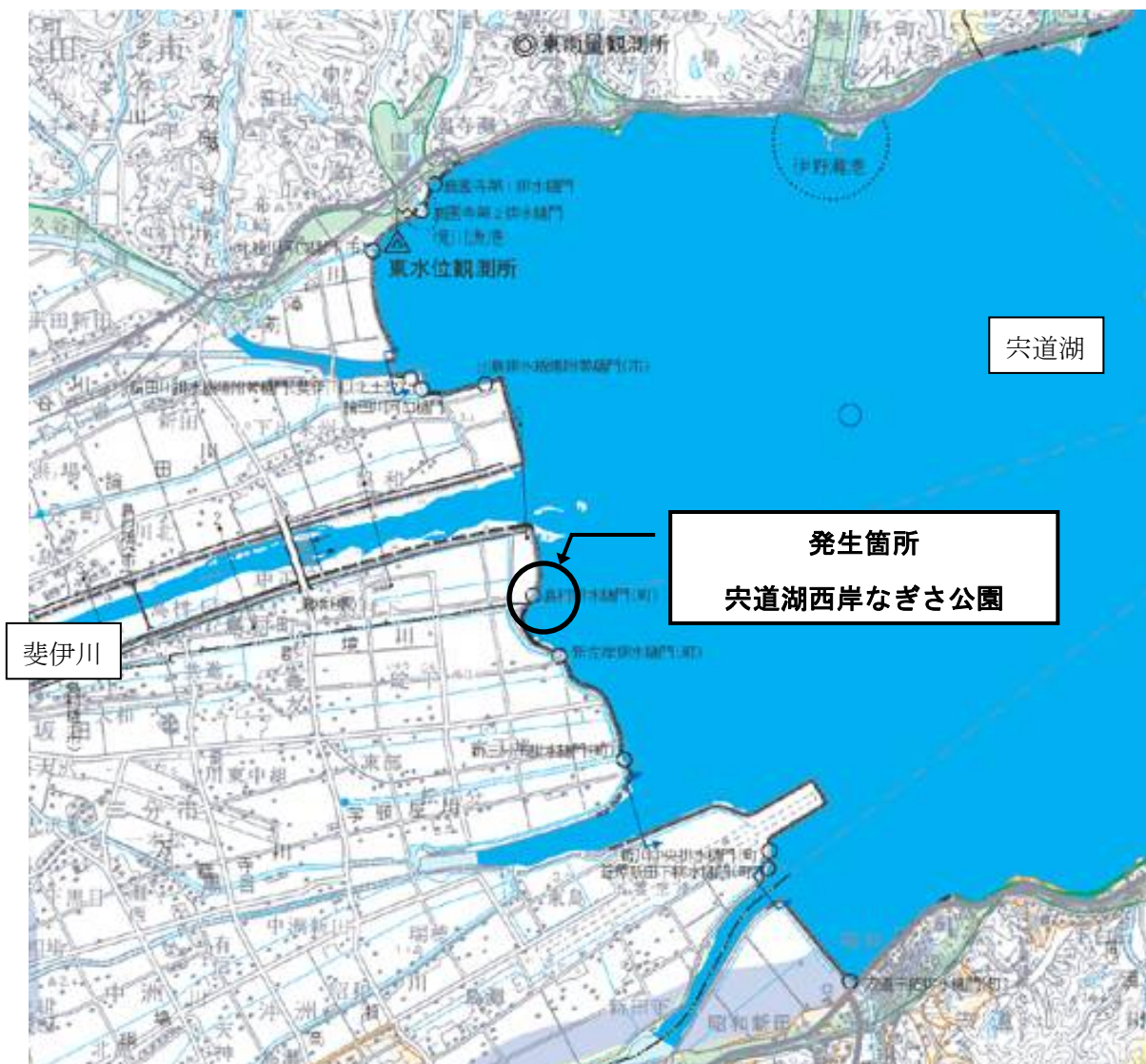
島根県政記者クラブ、松江市政記者クラブ、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 水環境課

電話 0853(20)1763

水環境課長 伊藤 健



魚のへい死状況



写真の魚種はスズキ(セイゴ)



水域の状況(白っぽい水域を確認)

